

令和5年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 蒲原聖母幼稚園
園長 川島 弘美
蒲原聖母幼稚園 学校関係者評価委員会
委員長 佐野 絵理

1 幼稚園の教育目標

1. 神様と仲間と共に生きる子どもの育成
2. 五感を通して神様の恵みに気づき多くの感動を持てる豊かな心の子どもの育成
3. 自分の思いをいっぱい出して丈夫な体で力強く生活できる子どもの育成

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

1. 安心安全な教育・保育環境の提供。
2. 園の情報発信の強化を行う。
3. 地域や自然との関わり・外遊びの充実を図る。
4. 職員のスキルアップに取り組む。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価項目		自己評価(令和6年2月29日)		学校関係者評価(令和6年3月15日)	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
教育内容	1 理念・方針	A		A	
	2 園の課題	B		B	
	3 行事の精選	A	例年の行事の見直しに取り組み、子どもの成長に繋がる豊かな経験ができる行事にしたい。	A	味噌作りなど家庭ではできない経験ができた。各行事での園児の積極性や楽しく参加する様子が見られた。
	4 園児指導	B		A	
	5 免許・資格	C	職員のスキルアップの機会を設けることが出来なかった。体制を整え学べる時間がとれるようにしていきたい。	B	職員の体制を整え、次年度にむけ計画的に行う姿勢があることが伺えた。
	6 職員の課題	B		B	
	7 研修の企画	C	モンテッソーリなど園内研修、研修報告の機会が設けられなかった。年間計画に沿って実施できるよう努力する。	B	どの企業においても人員不足の中研修に参加することは困難だと思う。可能なら録画などとして共有してはどうか。
	8 環境設定	B		B	園外活動を園児は楽しんでいる。
子育て支援	9 未就園児	B	入園説明会を7月の土曜日に行うなど園を訪れる機会を増やした。継続して続けていきたい。	B	ホームページの更新が少なかった。エンゼルクラブの様子ももっと分かると良い。
	10 在園児	B		A	保護者の悩み事もよく聞いてもらい感謝している。
	11 児相等の連携	A		A	
	12 預かり保育内容	A		A	皆でゲームをするなど毎日あきないよう、工夫されている。
	13 預かり保育体制	A		A	
安全管理	14 施設と設備	A		A	
	15 防犯体制	B	園児と職員の安全を守るために、不審者訓練を警察署に依頼して行いたい。	B	不審者が簡単に園内に入れてしまうので少し心配。警察の指導による訓練があるとよい。
	16 安全衛生管理	A	園バス内の置き去りに対応する安全装置を速やかに設置した。装置に頼らずしっかりと人の目で確認して安全にバス運行をする。	A	毎日の点呼が確実に行われており安全確認の徹底が図られている。
	17 アレルギー対応	A	乳児クラスに重度のアレルギーの対応が必要な子が転園してくるので、栄養士も含め職員全員で対応を協議し情報を共有出来る体制を整える。	A	
	18 防災対策	A		A	防災訓練を随時行うことで園児の意識も高まっている。緊急時の迅速な対応のためにも引き続き訓練の実施を希望する。

評価項目		自己評価(令和6年2月29日)		学校関係者評価(令和6年3月15日)	
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
人事管理	19 労働条件明示	A		A	
	20 時間外勤務	B		B	
	21 就業規則	A		A	
	22 労働者名簿	A		A	
	23 自己評価	B		A	
財務管理	24 予算作成	B		B	
	25 決算の分析	B		B	
	26 情報開示	A		A	
	27 個人情報保護	A		A	
	28 経理規程	A		A	

※自己評価、学校関係者評価とも1～28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全な保育環境・豊かな体験の提供	引き続き園バスの安全な運行に心掛ける。不適切保育防止の為に保育の振り返りを今後も定期的に行い、一人一人に適切な援助を行う。防犯体制・訓練の実施。健康面では、必要に応じ検温・消毒の実施、またアレルギー対応について細心の注意を払う。宗教教育・モンテッソーリ活動・自然との触れ合い・外遊び・縦割り・横割り保育などを通じて豊かな体験が出来るよう環境を整え保育の質の向上を目指す。
園活動や園情報の周知	今後も味噌作りなど、地域の方との関わりを続け存在をアピールしていく。少子化に伴う園児獲得も年々厳しくなっている。卒園生やその保護者の協力を得て園での幼少期が卒園後どのように活かしているのかを教えて頂き、園選びの際参考にしよう。ホームページの更新・SNSの活用にも積極的に取り組む。
職員研修への取り組み	職員の体制を整え、地区研修・協会主催の研修などに参加できる機会を設ける。動画配信を利用するなど研修方法を見直し柔軟に対応していく。保育士資格・幼稚園教諭免許取得を希望する職員を積極的に支援する。それらを通して職員のスキルアップにつながるよう努力していく。

5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和6年3月18日～令和6年4月20日

●公表方法 玄関ホールや掲示板への掲示・ホームページでの公開

記入日 令和6年3月16日

記入者 園長 川島 弘美

